

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 ワクチン接種対策室 市町村支援第五係

電話番号：058-272-1111 (内 2768) E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,738,919 千円 (現計予算額：963,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	963,000	963,000	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,738,919	3,738,919	0	0	0	0	0	0	0
決 定 額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、11月末までにワクチン接種を希望する人すべてにワクチン接種を行う必要がある。そのためには、接種回数や接種施設数を増加させる必要があるため、一定回数以上の個別接種を行う医療機関を支援することにより、ワクチン接種を希望する人へのワクチン接種を加速させる。

(2) 事業内容

医療機関1施設当たりの接種回数を増加させるため、一定期間継続して100回又は150回以上の個別接種を行う診療所に交付金を交付するとともに、接種施設数を増加させるため、1日に50回以上のまとまった規模の個別接種を行った医療機関に交付金を交付する。

【事業内容】（すべて11月末が期限）

- ① 診療所において、100回/週以上の個別接種を4週間以上行った場合
2,000円/回
- ② 診療所において、150回/週以上の個別接種を4週間以上行った場合
3,000円/回
- ③ 診療所・病院が50回/日以上での個別接種を行った場合
10万円/日（定額）※①、②の対象となる場合は支給しない
- ④ 病院において、自院で50回/日以上での個別接種を、週1日以上・4週間以上
継続して行った場合
 - ・ 医師 7,550円/人・時間※③に加えて交付
 - ・ 看護師等 2,760円/人・時間※③に加えて交付

（3）県負担・補助率の考え方

国10/10

（4）類似事業の有無

有（新型コロナウイルスワクチン接種加速化支援事業費補助金）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	1,056	コピー代等
役務費	629	携帯電話代、郵便代
委託料	20,424	コールセンター委託料
使用料	810	パソコン、プリンターリース代
交付金	3,716,000	医療機関への交付金
合計	3,738,919	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・ 新型コロナウイルス感染症「緊急事態」総合対策

（2）事業主体及びその妥当性

- ・ 医療機関を支援することによって、市町村の予防接種を強力的に支援していくこととなるため、妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ワクチン接種を希望する人へのワクチン接種を11月末までに完了させられるよう、接種回数の増加と接種施設数の増加を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(R)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の予防接種を支援していく事業であり、指標化はそぐわない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	ワクチン接種に係る個別接種の回数や個別接種を行う施設数を増やすことは喫緊の課題であり、本事業により県が医療機関を支援することで、ワクチン接種の促進を図る事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 無し
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	